

## 会 議 要 録

|          |                                                                                                                                                                                   |                                                                                                  |      |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 会 議 名    | 第34回 八王子市生活安全対策協議会                                                                                                                                                                |                                                                                                  |      |
| 日 時      | 令和6年(2024年)2月13日(火) 14時00分～15時20分                                                                                                                                                 |                                                                                                  |      |
| 場 所      | 八王子市役所本庁舎議会棟6階 第6委員会室                                                                                                                                                             |                                                                                                  |      |
| 出席者      | 委 員<br>(敬称略)                                                                                                                                                                      | 松本 隆司、小林 弥生子、小林 龍之介、加藤 一詞、猪野 寛次、<br>星 周一郎、右田 敦之、堀上 則夫、高橋 文夫、吉井 英樹、<br>田村 正志、塚狭 雅朗、橋本 光太郎<br>計13名 | 計22名 |
|          | 代理出席                                                                                                                                                                              | 東日本旅客鉄道株式会社八王子駅副長 早川 哲郎、南大沢警察署生活<br>安全課係長 進藤 一臣、高齢者福祉課主査 三枝 浩之 計3名                               |      |
|          | 事務局等                                                                                                                                                                              | 長谷川生活安全部長、昆防犯課長、松日樂主査、星主査、西川主任、<br>大竹主事 計6名                                                      |      |
| 欠席者(敬称略) | 尾寿 敏夫、粕谷 良、西室 正士、三井 浩之、松原 清十郎、小林 真毅                                                                                                                                               |                                                                                                  |      |
| 議 題      | (1) 市内の犯罪発生状況と対策について<br>(2) 八王子駅周辺の客引き行為等の状況について<br>(3) 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について<br>(4) その他(事務連絡等)                                                                                   |                                                                                                  |      |
| 公開・非公開の別 | 公開                                                                                                                                                                                |                                                                                                  |      |
| 非公開理由    | —                                                                                                                                                                                 |                                                                                                  |      |
| 傍聴人の数    | なし                                                                                                                                                                                |                                                                                                  |      |
| 配布資料名    | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 次第</li> <li>● 資料1 令和5年(2023年)4月 犯罪発生状況対比表</li> <li>● 資料2 令和5年(2023年)5月末現在 八王子市内特殊詐欺被害発生状況</li> <li>● 資料3 「八王子市における特殊詐欺被害防止対策」</li> </ul> |                                                                                                  |      |
| 会議の内容    | (次のとおり)                                                                                                                                                                           |                                                                                                  |      |
| 会議録署名人   | 令和6年3月28日 署名人 星 周一郎                                                                                                                                                               |                                                                                                  |      |

(会議の内容 【 】: 発言者)

## 開会挨拶【生活安全部長】

- ・コロナ禍を経て、まちが元の賑わいを取り戻す中で、客引きやスカウト行為を繰り返す者の増加の予兆がある。
- ・令和 5 年 8 月から防犯カメラなど個人住宅の防犯対策品の購入・設置費用を補助する「住まいの防犯対策臨時補助事業」を実施、3 カ月半で 4,388 件の申請を受け付け、予算上限額に達し終了した。好評をいただいたことから、現在、追加で実施する準備を進めている。

## 議題(1) 市内の犯罪発生状況と対策について

### 【星主査】

#### 資料1について

- ・令和 5 年 11 月末時点の統計となっているが、この時点で令和 4 年の数値を超えている。特に発生件数の多い、車上狙い・オートバイ盗・侵入盗については地区別に発表。
- ・車上狙いについて、本市は都内自治体で 3 番目に件数が多い。内訳として、大塚:9 件(大学敷地内のヘルメット盗難が主)、散田町四丁目・めじろ台一丁目・めじろ台四丁目・横川町:5件(自転車の前カゴ、工事中の駐車車両からの盗難が主)、東中野・片倉町:3 件。
- ・オートバイ盗について、本市は都内自治体で最も件数が多い。内訳として、石川町:11件、梶田町:8件、小比企町・片倉町:7件、榎原町:6件、旭町・小宮町・東中野・宇津貫町・北野町:4件
- ・侵入盗について、本市は都内自治体で 3 番目に件数が多い。手口は「空き巣」が多数、特に空き家が狙われたものが多い。内訳として、絹ヶ丘一丁目:7件、鑓水二丁目・打越町・絹ヶ丘二丁目:6件、長房町:5件、堀之内三丁目・めじろ台二丁目・小比企町:4件、別所一丁目・めじろ台一丁目・元八王子三丁目・長沼町・北野台一丁目・北野台三丁目:3件。

#### 資料2について

- ・(市で集計した数値として、)令和 5 年市内特殊詐欺発生件数は114件、前年比+25件となる。被害額約2億7,300万円で、前年比+約5,100万円となる。
- ・多かった手口として、オレオレ詐欺が35件発生している。また、令和 5 年の特徴として、サポート詐欺を含めた架空請求詐欺が多発した。
- ・男女比については、男性31.6%、女性68.4%となる。
- ・被害者平均年齢74.7歳。
  - ・本市での対策の一例として、特に還付金詐欺に対しては、保険年金課の後期高齢者保険料の通知、収納課の税金還付に関する通知封筒(約 13,000 枚)の裏面に対策内容の印字を行っている。

## ○質疑応答

### 【右田委員】

- ・犯罪発生状況について、増加している手口がある一方で、ひったくりについては、減少傾向にあるように見える。警察での取組の効果によるものか。

**【吉井委員】**

・ひったくりは全庁的に減少している。以前は警視庁犯罪抑止対策本部で重点犯罪として指定されていたが、数年前に指定から外れるまでには減少した。

**【星会長】**

・以前と比べ防犯カメラの普及により割に合わない手口となったか。

**【吉井委員】**

・防犯カメラがひったくりを減少させたという検証は困難ではあるものの、防犯カメラが一定の成果を挙げたという認識は警察としても持っている。手口が特殊詐欺に移行したことも関係していると思う。

**【小林(龍)委員】**

・車上狙いも増加傾向にあるようだが、大塚地区が多いというのは同一の敷地内での発生によるものか。

**【星主査】**

・その通り、同一の敷地内で複数件発生している模様である。

**【吉井委員】**

・補足だが、大学敷地内での発生によるものである。

**【小林(龍)委員】**

・同じ場所で単独犯が行っているものか。

**【星主査】**

・単独犯の可能性も、複数人のグループで一斉に行っている可能性もある。

**【右田委員】**

・前回会議でも同様の話があったが、その際はグループによる犯行の話が挙がっていた。どのような対策を講じているのか改めて聞かせていただきたい。

**【吉井委員】**

・車上狙いもオートバイ盗も自転車盗もリンクするところがある。地区で見ると大学が所在する地区が多い傾向がある。捜査中の内容のため、詳細はお伝えできないが、少年のグループが犯行に及んでいる可能性が高い。  
・乗り物に関する犯罪手口に対し、八王子署管内に限った取組について説明する。犯行の場所については、駐輪場・駐車場が最も多い。中でもアパート・マンション・一軒家の駐輪場・駐車場から施錠されていない自転車・オートバイを盗むケースが多い。各駐車場・駐輪場の管理者を通じて車両から離れる際には「鍵をかけましょう」

「防犯カメラをつけましょう」という声掛け、ステッカーの取付けを周知啓発している。管理者が常駐しておらず、カメラもないような駐車場での盗難はやはり多い。アパートやマンション、公営駐車場・駐輪場については防犯カメラのない箇所がそれなりにある印象を持っている。

## 議題（２） 八王子駅周辺の客引き行為等の状況について

### 【星主査】

資料3について

- ・客引き・スカウト等行為者の数は若干増加傾向にある。
- ・特に、スカウト行為について、直近の傾向としては同じ行為者が違反を繰り返すのではなく、入れ替り立ち替り異なる行為者が違反を行う状況が続いている。そのため、「警告」対象とはならず、「指導」にとどまる状態の者が多い。

## ○質疑応答

### 【小林(龍)委員】

- ・客引き・スカウト等行為者はどういった経緯で採用されるのか。

### 【星主査】

- ・違反者に対し交付する「指導書」「警告書」の内容からだと、行為者は大学生が大半を占める。あくまでも分析ではあるが、例えば自身の先輩からの誘いに応じて採用されるという流れがあるかもしれない。

### 【星会長】

- ・SNS での大規模な勧誘というよりは、限られたコミュニティでの誘いが主流ということか。

### 【星主査】

- ・実際に指導・警告を行う専門職の話では、先輩・後輩の関係だと話す行為者が多いとのこと。

### 【星会長】

- ・条例違反となる基準や違反にならないようにするテクニック等も共有しているかもしれない。

### 【吉井委員】

- ・知り合いの知り合い、あるいは SNS 上で知り合った友達と友達の関係での勧誘が主流なのは、署としても肌感覚として実感している。また、これも感覚ではあるが行為者の数の推移も資料3の統計の通りだと思う。
- ・ただし、市の資料には客引きの数 155 人とあるが、客引きと認定した根拠が不明であり、ただ立っている者を推認して計上したと思われる。また、数字の見方として誤解いただきたくないのが、(令和 5 年 11 月の)20 時台に 155 人が一斉に違反をしたというわけではないという点である。
- ・署の取組みとしては、昨年八王子駅前で行犯逮捕を 3 件行っている。また、店へ連れ込むという行為が問題という

観点から、「立入り」を強化し、各種行政処分を実施している。

- ・市と協働で行う合同パトロールについても、客引き行為を躊躇する抑止力という観点から十分な効果があると考えている。他地域の繁華街と比べると、という前提ではあるが、八王子についてはパトロール参加者の姿を見て、通行人への声掛けをやめるといった姿が見受けられた。署としても継続を希望する施策である。

#### 【星会長】

- ・「見せる」パトロールは重要であるし、客引き行為者により迷惑を被っている地域住民や商店に自分事として地域防犯活動として継続して携わっていただくことが肝要。コロナも収束し活気が戻ってきていることも（客引きの数に）影響していると思うが、引継ぎ取組んでいただきたい。

#### 【早川代理】

- ・八王子駅構内のセオ側で客引きの姿をよく見かける。これに関して、立川駅の自由通路で客引き行為やその他違法行為に対する注意喚起の放送を流しているのを聞いた。八王子駅としても放送文案の提供があれば、構内で注意喚起の放送を流すことが可能なため検討していただければと思う。

#### 【吉井委員】

- ・せっかくの申出のため、市と協議の上、市条例・都条例のかねあいも考慮し、検討させていただきたい。

#### 【早川代理】

- ・駅利用者からも見知らぬ人間からの声掛けに対し苦情が来ることがある。制服を着て見に行くと既に姿を消していて、駅員がいなくなればまた現れる。

#### 【吉井委員】

- ・市の客引き行為等防止指導員の勤務形態はどのようになっているのか。

#### 【防犯課長】

- ・日曜日以外の全ての曜日の午後2時半頃から午後9時頃まで出勤している。

#### 【吉井委員】

- ・指導・警告はできるが、行政指導、過料を科した者はいないか。

#### 【星主査】

- ・市では過料罰がなく、公表までとなっている。

#### 【吉井委員】

- ・条例改正を検討した方がいい。

### 議題（３） 各警察署管内の犯罪発生傾向と対策等について

【田村委員】

連絡事項

- ・これまで警視庁で定める「指定重点犯罪」は、罪名が指定されていたが、来年度からは「指定重点犯罪」という枠組みではなく、各署の実情に応じて対策を講じていく方針に変更される。特殊詐欺については依然増加傾向にあるため、「特殊詐欺対策本部」が新たに設置される。
- ・刑法犯認知件数について、ピークであった平成 14 年が警視庁管内：30 万 1,913 件であり、以降、令和 4 年までには 7 万 8,475 件まで減少している。肌感覚として安心・安全を実感できているかと聞かれるとおそらくそうではない。理由として、犯罪の舞台が現実空間からサイバー空間に移行してきていることが関係していると思われる。闇バイトに代表されるように若者が容易に犯罪に加担するようになっていたり、犯罪被害者が高齢者や女性、子どもなど、自分を守る手段が限られている人々、社会的弱者に変化していることも影響している。
- ・このように犯罪の発生要因や被害対象が変化していることもあり、特殊詐欺は別として、重点犯罪の指定ではなく、各署の実情に応じ対策をとる方針となる。

配付資料（「八王子市内の刑法犯認知状況と特殊詐欺認知状況（令和 5 年中）」）について説明

- ・特殊詐欺について、（市内被害に対し、）警視庁管内全体では 2,918 件、81 億 5,000 万円、被害額については 13 億 7,000 万円の増加となっている。これについて、23 区よりも八王子を含めた多摩地区の被害が増加傾向にある。全国でみると、1 万 7,254 件、382 億 3,900 万円の発生、前年比 1,610 件、52 億 8,000 万円の増加となる。過去と比べ犯罪に加担するハードルがかなり下がっていることは事実。特殊詐欺は強盗に発展することもあり、危険であることに依然変わりはない。
- ・特殊詐欺は基本的に固定電話利用者が狙われる。比較的年配の方の時代はよくあったと思うが、子どもの頃連絡先名簿が当たり前のように作られ、それが共有されていた。それが今になって犯罪に使用されている。NTT が実施する固定電話利用者向けのナンバーディスプレイ・ナンバーリクエスト無償化事業を周知しているところだが、署の取組みにも限度があるので、委員の皆様にもぜひ周知に協力いただきたい。ナンバーディスプレイを使用していない家庭はそれなりに多い。
- ・また、国際電話番号による特殊詐欺被害が増加していることから、海外との電話が不要な場合、発着信を無償で休止できる取組みも実施している。今年度 9 月頃までは「050」発信のもの、IP 電話が多かった。来年度以降は「050」番号を契約する際には本人確認も併せて実施するよう省令を改正する話が出ると、今度は「+1」や「+44」の番号が増えてきた。これらはアプリで変更する仕様になっている模様。この 2 点だけでもいいのでぜひ協力いただきたい。
- ・アポ電の傾向として、例年だが、寒い時期は少なくなり、暖かくなると数が増える傾向がある。

○質疑応答

【星会長】

- ・先日、警察庁の方から全国の刑法犯認知件数の速報値の発表があったが、八王子市は全国的な推移と比べ、何か違いはあるのか。

### 【吉井委員】

- ・全国的にも八王子市単体でみても件数が増加しているという前提がある中で、違いを挙げるとすれば、八王子で(特殊詐欺で)多いのは「オレオレ詐欺」だが、全国で傾向として(特殊詐欺で)多いのは「架空請求詐欺」である。「オレオレ詐欺」が多いというのは、高齢者が昔ながらの手口、つまり息子や孫をかたった犯行グループに一本の電話を糸口に騙されてしまう傾向が本市はある。
- ・これについてとるべき対策としては、やはり高齢者に対するアナウンスが第一である。市でも高齢者福祉課については、ナンバーディスプレイ無償化事業に関するチラシの配架を依頼するとすぐに引き受けてくれた。福祉政策課については、民生委員を通じて、「電話でお金のお話が出たら詐欺」と伝えてもらうよう依頼すると、昨年の21件に対し、60件程度とかなりの未然防止に繋げることができた。先日、犯罪抑止対策本部長賞も受賞した。この周知・啓発の輪を広げていければと思う。

### 【星会長】

- ・特殊詐欺は世に存在が知られてから少なくとも20年が経過しており、社会常識になっているにもかかわらずこれだけの被害が発生している。やはり地域の協議会として、自治体としては潜在的被害者に対する注意喚起を呼びかけ続けることが重要なのか。ナンバーディスプレイ機能を持たない電話機はそれなりにあるのか。

### 【田村委員】

- ・依然かなり存在する。

### 【星会長】

- ・昔ながらの黒電話をナンバーディスプレイ機能付きのものに変える補助などがあるといいのかもしれない。

### 【田村委員】

- ・オレオレ詐欺はかなり危険な犯罪である。犯行側が電話をかけた時点で被害者宅のそばに既にいる可能性が高く、被害者の前にすぐに現れ、直接対面してくる。被害者が加害者と対面する点が他の手口と異なり、その後何をしていくかわからないため、昔ながらの手口ではあるが非常に危険である。

### 【星会長】

- ・時間的猶予がないため、通報する暇もないということか。

### 【田村委員】

- ・そのくらいのイメージを持った方が良い。

## 議題(4) その他(事務連絡等)

### ①【松本委員】

回覧資料(多摩信用金庫作成の啓発用紙・警視庁サイバー対策啓発物資)について説明

- ・多摩信用金庫で行っている取組として、年金支給日に景品としてはがきサイズで電話機のそばに貼れる注意喚起の用紙を配布している。金融機関で取り組んでいる実例として紹介する。
- ・また、警視庁の取組として、高齢者向けにサイバーセキュリティとしてフィルムを配布している。

## ○質疑応答

### 【星会長】

- ・はがきサイズというのが一定の年齢以上の世代の方には馴染みがあっていいかもしれない。

### 【吉井委員】

- ・民間企業や市役所にも協力していただけるのは非常にありがたい。

### 【星会長】

- ・高齢者に馴染みのある郵便局に取り組んでいただけるのは重要なことである。

## ② 【橋本委員】

配付資料(消費生活ニュース 12月号・1月号)について説明

- ・消費生活センターでは月に一度「消費生活ニュース」を発行しており、市ホームページ、LINE、X(旧 Twitter)でも公表している。市内だとスーパーアルプス様にも配架していただいている。センターでは犯罪というよりは商品購入の際の契約に関するトラブルなどを主に扱うことが多いが、最近ではインターネットでの売買などに起因する事案が増加している。
- ・12月号に記載の内容は、ネット通販で商品を注文したが品物が届かないという状況の後、返金対応のためと偽り、逆に送金させるもの。1月号に記載の内容は、震災や大雨などの災害が発生した際に便乗して起こる悪質商法についてで、それぞれに対する対策やアドバイスをニュースに掲載している。
- ・その他、その時々で発生するトラブルとしては、台風シーズン前に「屋根を修理しませんか？」と言ってきた業者に高額な費用を請求されるという内容も把握している。

### 【星会長】

- ・昔ながらの取引に起因するトラブル、今回のような新たな方法に起因するトラブル双方に対処していくことが求められるのかもしれない。震災に乗じた義援金詐欺もあり、油断も隙もない。引き続き取り組みの継続をお願いしたい。

## ③ 事務局より 【防犯課長】

配付資料(住まいの防犯対策臨時補助金(追加))について説明

- ・昨年 8 月から 11 月まで実施していた補助金事業について、大変好評をいただいたことから 11 月補正予算で改めて計上し、今年 3 月から新たに受付を開始する予定である。金額について、以前は上限額が 4 万円だったのに対し、今回は 2 万円となる。先ほど田村委員からナンバーディスプレイ無償化事業の紹介があったが、本

業で対象とする防犯対策品の中にも迷惑電話防止機能付固定電話機を含んでいる。前回の受付時にも当該品目での申請が複数あった。

○質疑応答

【星会長】

・情報がオープンになるのはいつ頃なのか。

【防犯課長】

・各団体への周知は2月後半から、また、「広報はちおうじ」3月15日号に掲載予定である。

【星会長】

・各店舗にも周知を行うのか。

【防犯課長】

・前回受付時に申請者から提出された領収書を発行した店舗にはあらかじめ事業の周知を行う。

【星会長】

・市広報誌だけだと周知が行き届かない可能性もあるため、工夫が必要に思う。

【防犯課長】

・前回受付時も市の媒体というよりは、利益に繋がることもあり各店舗がかなり宣伝に力を入れていた。その効果は大きかったと思う。

【右田委員】

・町会自治会への周知は予定しているか。

【防犯課長】

・チラシの回覧・掲示等を依頼する予定である。

【右田委員】

・文字情報が多く、読んでもらうには工夫が必要に思う。

【松本委員】

・X(旧 Twitter)での告知もお願いしたい。

【防犯課長】

・SNSを通じた発信も行う。

【右田委員】

- ・予算規模はいかがか。

【防犯課長】

- ・5,000 万円で予算計上している。

【星会長】

- ・チラシだけでは情報が伝わりにくいと思うため、伝え方に工夫が必要である。

(全体を通じて)【星会長】

- ・コロナ禍を経て人流が戻ってきたことや、新たな犯罪手口も発生し始めている。各団体におかれては引き続き各種対策、ご協力をお願いしたい。

④ 事務局より【防犯課長】

- ・今年度の開催は今回が最後となる。次年度の開催は年度が明けてから改めて通知させていただく。

以上